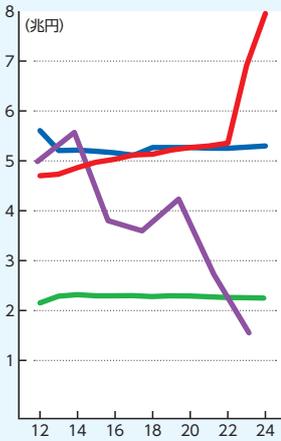


あなたの生活に大影響! 防衛予算クイズ

Q1 このグラフの折れ線が示している予算は何でしょう?

- ①文科予算 ②農水予算 ③防災関連予算 ④防衛予算



出典: 政府予算案より全教作成

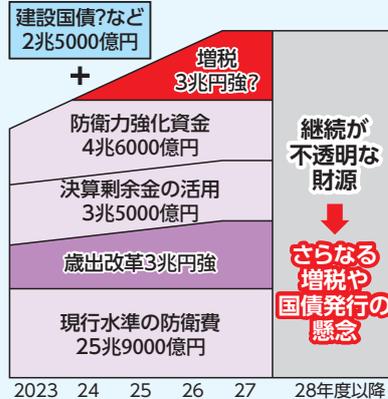
正解は
赤: ④防衛予算
青: ①文科予算
緑: ②農水予算
紫: ③防災関係予算

2020年に防衛予算が、文科予算を上回りましたが、大軍拡により、2025年度予算では、8兆7000億円に。文科予算は5兆4029億円なので1.6倍になっています。

Q2 8兆円の財源はどうやって生み出すの?

- ①国債を増額 ②社会保障費を削減 ③増税

防衛費増額 5年間43兆円の財源



出典: 財務省資料より

①②③すべて正解です。

建設国債2.5兆円 増額します。次に社会保障費という国民の暮らしを支える**社会保障分野の歳出を削減**します。(3兆円) それでも足りない**ので増税**がもくろまれています。(3兆円)

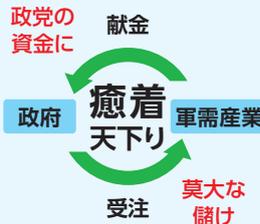
Q3 防衛費の8兆円はどこへ?

アメリカ政府や日本国内企業に流れています。防衛省中央調達契約トップ6の実績を見ると、1位の三菱重工業と2位のアメリカ政府で54.7%を占めます(2023年)。受注額トップの三菱重工業は4種類の敵基地攻撃ミサイルの開発・量産を行い大量の兵器を政府から受注しています。毎年防衛省から天下り職員が数名います。加えて、自民党への政治献金もトップで、2022年に自民党に献金した額3300万円の数万倍の金額の政府からの受注が行われています。このような利権の癒着により殺傷兵器を生産する軍需産業に巨額な税金が流れています。

防衛省中央調達トップ6社の契約高、天下り人数、自民党への企業・団体献金

順位	契約相手方	2023年度(億円)	比率(%)	防衛省からの天下り	
				2022年度	2022年分(万円)
1	三菱重工業	16,803	30.1	4	3,300
2	米国政府	13,686	24.6	—	—
3	川崎重工業	3,886	7.0	3	300
4	日本電気	2,954	5.3	4	1,800
5	三菱電機	2,685	4.8	3	2,000
6	富士通	2,096	3.8	5	1,800

(出典: 防衛省資料、衆院予算委員会要求資料、政治資金収支報告書をもとに作成)



Q4 8兆7000億円の軍事費を日本の人口で割ると? 1人あたりいくら?

- ①642円
 ②6420円
 ③6万4200円



正解は③です。2023年の人口は約1億2460万人なので、赤ちゃんも高齢者も負担したとして、1人あたり約6万4200円になります。同意もなく、これだけの税金が、人のいのちを奪い、暮らしを破壊するミサイルや戦闘機の購入費に投入されています。

平和な未来を子どもたちに 防衛予算拡大は反対! 増税はNO!
 「大軍拡反対請願署名」にご協力ください。

平和な社会は
 平和外交で



8兆円あれば、何ができる?

小学校の給食無償化



約4600億円※1

全国の小中学校20人学級に



約8600億円※2

幼稚園から大学まで教育無償化



約4兆円※3



消費税現在の税率10%から8%へ引き下げ
 4兆3146億円※4

戦争をなくすには、世界で人の命を守る国際憲章や国際法が必要。(中学生)



政府は絶対に、武力に頼らず国際平和に貢献して永久に戦争を放棄してほしい。(中学生)



※1 2023年日本平和大会パンフレットより ※2 「ゆとりのある教育を求め全国の教育条件を調べる会」推計 ※3 三輪定宣著「無償教育と国債人権規約」 ※4 政府資料に基づく

「憲法守れ、大軍拡反対」声をあげる青年

今年「戦後80年」戦争を起こした日本は何をしたか

アジア・太平洋戦争で日本とアジアの犠牲者は？

1945年8月15日に終戦を迎えたアジア・太平洋戦争における日本人死者は、310万人(軍人・軍属が230万人、民間人が80万人)に達します。戦地での戦闘で亡くなった人に加え、餓死や戦病死、そして民間人の「集団自決」などもあり、300万人を超える尊い命が奪われていったのです。また日本軍がアジア・太平洋各地を侵略したことで、民間人を含めた約2000万人以上が犠牲になりました。(参考:『日本軍兵士—アジア・太平洋戦争の現実』吉田裕著他)

おろかな「戦争」は 人々の生存や人生に大きな被害を残す

▶なぜ中学生の「学徒隊」までが戦地に行ったのですか？

1944年12月、第32軍と沖縄県が打ち合わせをして10代の少女も「学徒隊」として動員されました。14歳から16歳が「鉄血勤皇隊(てっけつきのうたい)」として軍に配属され、足りない軍人の代わりに手伝いをさせられました。各学校が14歳からの名簿を提出したことにより、沖縄県が第32軍の要請を受け入れなければ、学徒隊は動員されなかったのです。教育を通じて軍国主義がすりこまれ、国に従わざるをえない状況がつけられました。(参考『観光コースでない沖縄』高文研)

▶第二次世界大戦時の軍事費は？



	歳出純計	軍事費
1935年	22億円	10億円
1940年	110億円	79億円
1944年	862億円	735億円

これだけの戦費をどうまかなったのか。まずは戦時国債です。到底足りないので国民に増税しました。たった数年間で税負担を10倍にして、国民をさらに苦しめたのです。それは多くの国に共通していました。(参考『第2次世界大戦期の戦争財政』関野満夫)

▶「学童疎開」は何のため？



子どもがみんな死んでしまったら将来の兵士がいなくなるからです。「疎開(そかい)」はもともと軍事用語で、分散して闘いをすすめるという意味の言葉です。将来の戦力となる子どもたちを温存するためでした。(参考:逸見勝亮「学童集団疎開史—子どもたちの戦闘配置」)兵隊になる可能性の低い病弱な子や障害のある子など、「疎開」から除外された「残留学童」は首都圏だけでも約30万人もいました。(文部省調べ)疎開できた学童も、食料難のため、大変むじみ思いをし、疎開先でいじめにあたり餓死したりした子も相当いました。

海外に輸出するのは 武器でなく「平和憲法」

▶日本政府の「受忍論」とは？

二つの基本要請^{※1}を掲げて運動を展開してきました。一つは、日本の政府の『戦争の被害は国民が受忍しなければならない』^{※2}との主張に抗い、原爆被害は戦争を開始し遂行した国によって償われなければならないという私たちの運動であります。

(田中熙巳さんノーベル平和賞受賞スピーチより)

※1 日本被団協の基本要請は核廃絶と原爆被害者への国家補償です。
※2 国の非常事態下で起きた身体や財産の被害は国民が等しく受忍(我慢)しなければならないというもので「戦争被害受忍論」といいます。戦時中は「欲しがりません勝つまでは」と我慢を強い、戦後も戦災は我慢すべき犠牲とし、国による戦後補償をしませんでした。

▶戦争の反省からこの国が作ったのは？

それは**日本国憲法**です。



こんどの憲法では、日本の国が、けっして二度と戦争をしないように、2つのことをきめました。一つは、兵隊も軍艦も飛行機も、戦争をするためのものは、いっさいもたないということです。これを**戦力の放棄**といいます。もう一つは、よその国と争いごとがおこったとき、おだやかに相談をして、きまりをつけようということです。なぜならば、いくさをしかけることは、結局、じぶんの国をほろぼすようなはめになるからです。これを**戦争の放棄**というのです。そうしてよその国となかよくして、世界中の国が、よい友だちになってくれるようにすれば、日本の国は、さかえてゆけるのです。

(文:絵ともに1947年文部省発刊:中学1年生用教材『あたらしい憲法のはなし』(一部抜粋))

教え子を再び戦場に送らない!

問い合わせ:全日本教職員組合・教組共闘連絡会

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1 電話:03-5211-0123 FAX:03-5211-0124